

議事(3) 令和元年度我孫子市第三次生涯学習推進計画における課題について

学校図書館との連携について（資料3）

資料3に現在推進している事項と今後の課題を書かせていただきました。これらについてご意見やご質問、または先進市の事例等ありましたらお聞かせください。

【福田委員】

学校図書館支援センター機能が立ち上がり、子どもたちを取りまく読書環境が大きく改善することが期待され、とても嬉しく思います。

資料3、推進計画を拝見しました。学校図書館の環境改善にあたり、司書教諭の時間の確保については記述がありましたが、役割等について具体的な記載がなかったため、学校司書と教諭の協働について、どのように働きかけていくのか気になりました。

隣接する柏市の学校図書館では、司書教諭と学校図書館指導員(我孫子市の学校司書にあたります。)が合同で研修を行っています。今年度は、図書館指導員の年10回の研修のうち、4回が合同研修の予定です。図書館活用、選書、廃棄等の図書館運営は各校のニーズを反映しながら司書教諭を中心に行い、図書館指導員はその支援と実務を行っています。全学年、全教科の教科書が図書館に配備され、選書や支援準備の参考にしています。

「学習センター」「情報センター」として機能するかどうかは、授業を行う先生方との協働が欠かせないため、図書館環境整備と並行で、先生方への意識付けが重要になってくるかと思います。また、インターネットを使って調べ学習をさせる先生も増えてきているので、ICT 併用で調べ学習することも視野に入れた授業支援がこれからは必要になってくると感じています。

柏では司書教諭が各学校の教員に図書館の利用を推進し、図書を使った授業の指導案作成などを支援するアドバイザーも指導課に配置されています。年間を通じて各校を巡回し、指導員を支援するアドバイザーもいます。

また、柏市では学校図書館マニュアルを作成し、図書館運営に役立てています。

「学校図書館オンライン」というホームページで公開されています。「学校図書館オンライン」で各学校図書館の様子や研修の様子をブログで紹介し、情報共有に役立てています。毎年図書館を利用した授業の事例集も作成しています。

物流について、非常に便利である反面、他校と需要が重なることもあるため、自校の学習に必要な本は少しずつでも買いそろえることを忘れないようにしておくことが必要です。図書館活用が進むと、本を使った授業が増え、単元の時期は重なるため、貸借ではなかなか冊数を確保できず、授業の時期をずらすなどの工夫を強いられることもあります。

【図書館・指導課】

ご意見、先進市の事例をお聞かせいただきありがとうございます。ご意見を参考にしながら、子どもたちの読書環境の改善に努めます。

【小林委員】

- ・月1～2回、朝15分程度読み聞かせを実施している学校(全学年全クラス)
- ・短縮授業日、学校行事関連日等は、図書室利用不可。日常的には業間・昼休みのみ可、放課後も不定期。学習関連時は開放(担任?)

以上のような現況の一部を聞きました。活字離れ、読書人数の低下が問題視されている今、児童目線での図書室とは、「学習センター」「情報センター」なのでしょうか。

本来の「読書の楽しさ」に気付く機会や継続読書を妨げない本の貸借を学校図書で実施するのは難しいのですか(利用時間の制限)

入力検索は児童自身が自由にできるのですか(蔵書システム)。本が見つければ、市民図書館から学校へ届けられるということでしょうか。

【図書館・指導課】

- ・学校図書館の開館状況:小学校・・・基本的に図書整理期間を除く、全登校日に開館
:中学校・・・学校司書の勤務日勤務時間内において全日開館
図書整理期間を除く全登校日の業間休みと昼休みに開館
学習で図書室や図書資料を活用する際には、司書が不在であっても教員が開館。一部の中学校では、図書ボランティアが全登校日開館、また教員が不定期で放課後に開館
- ・「読書センター」「学習センター」「情報センター」について
文部科学省「学校図書館ガイドライン」によると、学校に設置された学校図書館は3つのセンター機能を有することとなっています。
我孫子市の学校図書館はいままで「読書センター」としての機能に重きをおいて充実を図ってきました。しかし、今後は主体的・対話的で深い学びの実現のためには、「学習センター」「情報センター」として、整備は欠かせません。
- ・本の検索について
現在西小・南小で導入中のシステムについては、貸出返却機能が主なため、資料検索を児童生徒が自由に行うことはできません。
- ・市民図書館の図書資料の貸借について
学校からの調べ学習用資料は団体貸出で対応し、教員からの申込方式としています。

【中村委員】

1. 研究指定校設置による成果として、何がありましたか？
2. 現在推進している項目で、ハード面(システム化、ネットワーク化や司書配置、勤務時間等)のほか、児童生徒の身近な司書として授業支援に加え、読書週間の設定、テーマを設けた展示、地域の伝統文化に触れる地域との連携等のソフト面の拡充について、計画はありますか？

【図書館・指導課】

1. 研究指定校の成果について

・学校図書館・学校司書・市民図書館を活用した授業実践

学校司書研修のひとつとして、授業実践を見学し、全市で取り組めるよう努めました。

その結果、児童生徒が読書に親しむ場を数多く設定し、子どもたちの読書の世界を広げることにつながりました。

・蔵書システムの試行

本の貸出・返却時間が短縮できたことで、本選びの時間や読書指導時間が確保できました。

2. ソフト面の拡充について

年間全10回の学校司書連絡会において、市内各校の授業支援、読書活動の推進、テーマを設けた展示など、実施に向けた情報共有をおこなっています。

例えば:図書館の使い方のオリエンテーション

委員会活動の取り組み方

読書週間の設定

おすすめ図書の展示

図書館だよりの内容検討

地域アーカイブの整理

ボランティアとの連携

自習室としての活用(主に中学校)

市民図書館と連携したイベント(よむよむラリー実施・たんた新聞展示)など

実施した内容を報告しあい、共有化していく予定です。

【大和委員】

ご参考までに、市民活動しているの情報お知らせいたします。

1. 「nigiwaiプロジェクト～公民館でつながる～」情報先:富津市生涯学習課 ちばコラボ大賞(千葉県知事賞)受賞活動
2. 株式会社図書館流通センター 業者情報 各地での取り組み事例から、参考になるものがありそう

【図書館・指導課】

1. 2. 情報をいただきありがとうございます。

今後も多方面からの情報獲得を心掛け、よりよい運営につながるよう努めます。